地方公営企業法第40条の2第1項の規定に基づき、業務の状況について公表します。

令和元年6月

白河地方広域市町村圏整備組合管 理 者 鈴 木 和 夫

白河地方広域市町村圏整備組合水道用水供給事業の 業務の状況について

1 平成31 (令和元) 年度事業の概要

平成 31 (令和元) 年度水道用水供給事業会計予算が、去る 2 月 22 日開催の当組合議会 2 月定例会において可決されましたのでお知らせします。

(1) 総括事項

本年度の業務としましては、供給 6 市町村(白河市、矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村及び棚倉町)を対象とし、年間総給水量7,799,460 ㎡、一日最大給水量 21,310 ㎡を供給する予定です。前年度に引き続き、計画的な設備機器類の機能維持を図りながら、合理的な運転管理と健全な経営に努めるとともに、清浄でおいしい水の安定供給を図ってまいります。

本年度の予算につきましては、収益的収入は供給 6 市町村からの用水料金、地方公営企業繰出金及び長期前受金戻入などを計上しています。収益的支出は当組合の芝原浄水場維持管理や保守点検、浄水に必要な動力費や薬品費、水質検査に要する経費、減価償却費、企業債利息、職員給与費などを計上しています。これら支出項目毎に適正かつ効率的に執行することを踏まえ、収益的収入は 1,152,174 千円、収益的支出は 963,825 千円を計上しました。資本的収支につきましては、資本的収入 56,232 千円(企業債、出資金)、資本的支出 425,829 千円(建設改良費、企業債償還金)を計上しました。資本的収入額が支出額に対し不足する額 369,597 千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金などで補てんします。

本年度の主な事業としましては、日常的な浄水場運転維持管理のほか、年次計画に基づいた施設の保守点検や修繕、そして、原水や浄水の水質検査などを行います。修繕工事として、受変電設備修繕、急速ろ過池設備修繕、各流量計室電磁式水道メーター修繕(5 か年計画の1年目)、脱水機設備等における劣化・消耗部品の交換整備など年次計画に基づき実施します。また、建設改良費としましては、浄水場中央監視制御設備更新に伴う実施設計業務委託料と、福島県管理の堀川ダムについて、県の長寿命化計画に基づく堰堤改良事業(4年目)実施に伴い、利水者側である当組合の負担割合29.6%分を負担します。

(2) 収支の状況

ア 収益的収支

7年に176人 (単位・11								
区分			平成31年度 当初予算額	平成30年度 当初予算額	比 較 増(△)減	備考		
		営業収益	719, 454	712, 853	6, 601			
	収	営業外収益	384, 455	385, 168	△ 713			
収益	益	特別利益	48, 265	48, 265	0			
		計	1, 152, 174	1, 146, 286	5, 888			
的	#	営 業 費 用	857, 123	847, 141	9, 982			
収支		営業外費用	101, 701	107, 634	△ 5,933			
	費用	特別損失	1	1	0			
	/13	予 備 費	5,000	5, 000	0			
		計	963, 825	959, 776	4, 049			

(単位:千円) イ 資本的収支

(単位:千円)

区 分		平成31年度 当初予算額	平成30年度 当初予算額	比 較 増(△)減	備考			
	ιlΣ	企	業	債	51, 000	49, 400	1,600	
資本	収 入	出	資	金	5, 232	6, 528	△ 1, 296	
本的			計		56, 232	55, 928	304	
収	1	建氰	没改良	き 費	51, 092	49, 492	1,600	
支	支出	企業	美債償	還金	374, 737	371, 602	3, 135	
	I		計		425, 829	421, 094	4, 735	

※資本的収入額が支出額に対し不足する額369,597千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金など369,597千円で補てんする。

(3) 予定貸借対照表

(単位:千円)

資 産 の	部	負債・資	本の部
1. 固 定 資 産	13, 763, 292	3. 固 定 負 債	2, 345, 264
(1) 有形固定資産	7, 979, 011	(1)企 業 債	2, 295, 264
(2) 無形固定資産	5, 784, 281	(2)引 当 金	50,000
2. 流 動 資 産	484, 768	4.流 動 負 債	393, 242
(1)現 金 預 金	464, 210	(1)企 業 債	372, 263
(2)未 収 金	0	(2)未 払 金	16, 482
(3) 貯 蔵 品	20, 558	(3)引 当 金	4, 497
		5. 繰 延 収 益	9, 850, 993
		(1)長期前受金	18, 276, 745
		(2)収益化累計額	8, 425, 752
		6. 資 本 金	1, 023, 380
		7. 剰 余 金	635, 181
		(1)資 本 剰 余 金	55, 653
		(2)利 益 剰 余 金	579, 528
資産合計	14, 248, 060	負債資本合計	14, 248, 060

2 平成30年度事業の状況 (平成31年3月31日現在)

(1) 事業の概要

平成 31 年 3 月 31 日現在の予算執行状況としましては、収益的収入の予算額 1,146,286 千円に対し、用水料金及び長期前受金戻入等による 1,152,764 千円 (100.57%) の執行済額となり、収益的支出の予算額 958,109 千円に対しては、経営に伴う施設維持管理費・減価償却費等による 942,432 千円 (98.36%) の執行済額となりました。また、資本的収支につきましては、資本的収入の予算額 43,628 千円に対し、企業債及び出資金による 43,628 千円 (100.00%) の執行済額となり、資本的支出の予算額 408,721 千円に対しては、建設改良費及び企業債償還金による 408,718 千円 (100.00%) の執行済額となりました。

水道用水の供給状況としましては、供給市町村への総送水量が 7,493,383 ㎡となり、有収水量は 7,432,119 ㎡、有収率は 95.6% となりました。引き続き、安全な水の安定供給に努めてまいります。

平成 30 年度の主な事業としましては、水道用水供給のための日常的な運転・維持管理、芝原浄水場・堀川ダムにおける原水や浄水の水質検査・放射性物質モニタリング検査を実施したほか、当組合施設における修繕工事として、芝原浄水場の屋根塗装修繕(3か年計画の最終年度)、薬品沈殿池汚泥掻寄機駆動装置修繕、急速ろ過池表洗ポンプ等修繕、脱水機設備における劣化・消耗部品の交換整備など年次計画に基づき実施しました。また、建設改良費としましては、福島県管理の堀川ダムについて、県の長寿命化計画に基づく堰堤改良事業(3年目)実施に伴い、利水者側である当組合の負担割合 29.6%分を負担しました。

当組合では、水道水の放射性物質モニタリング検査を週 1 回行っていますが、現在の状況は水道水中の放射性物質に係る管理目標値を下回っています。そのほか、原水(浄水場入口水)のモニタリング検査を週 1 回、堀川ダム流入水(堀川・横川)のモニタリング検査を月 1 回の検査頻度で行っていますが、いずれも管理目標値を下回っています。

(2) 経理の状況

平成30年度予算執行状況(H31.3.31現在)

イ 収益的収支

(単位:千円)

	区	分	平成30年度 当初予算額	補正予算額	予備費支出額 流用増減額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)
		営業 収益	712, 853	0	0	712, 853	356, 427	356, 427	712, 854	△ 1	100.00
	~ ~	営業外収益	385, 168	0	0	385, 168	97	385, 465	385, 562	△ 394	100. 10
収	益	特別利益	48, 265	0	0	48, 265	48, 263	6, 085	54, 348	△ 6,083	112. 60
益		計	1, 146, 286	0	0	1, 146, 286	404, 787	747, 977	1, 152, 764	△ 6,478	100. 57
的		営 業 費 用	847, 141	△ 1,667	0	845, 474	79, 839	753, 282	833, 121	12, 353	98. 54
収支	# .	営業外費用	107, 634	0	1,680	109, 314	38, 483	70, 828	109, 311	3	100.00
	費用	特別損失	1	0	0	1	0	0	0	1	0.00
	/13	予 備 費	5, 000	0	△ 1,680	3, 320	0	0	0	3, 320	0.00
		計	959, 776	△ 1,667	0	958, 109	118, 322	824, 110	942, 432	15, 677	98. 36

口 資本的収支

口資	2 資本的収支										(単位:千円)	
	区		分		平成30年度 当初予算額	補正予算額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)
	, t=	企	業	債	49, 400	△ 12, 300	37, 100	0	37, 100	37, 100	0	100.00
資	収入	出	資	金	6, 528	0	6, 528	6, 528	0	6, 528	0	100.00
本的			計		55, 928	△ 12, 300	43, 628	6, 528	37, 100	43, 628	0	100.00
収	幸	建設	设改良	!費	49, 492	△ 12, 373	37, 119	0	37, 117	37, 117	2	99. 99
支	文	企業	賃償還	景金	371, 602	0	371, 602	184, 760	186, 841	371, 601	1	100.00
			計		421, 094	,	·	184, 760	*	408, 718	3	100.00

※資本的収入額が支出額に対し不足する額365,090千円は、過年度分損益勘定留保資金186,815千円、減債積立金175,509千円、 建設改良積立金17千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,749千円で補てんした。

(3) 損益計算書

(単位・千円)

1月1111 丹百			(単位: 丁円)
区 分	上期分	下期分	累計額
営 業 収 益	330, 025	330, 025	660, 050
営 業 費 用	347, 714	470, 387	818, 101
営 業 利 益	△ 17,689	△ 140, 362	△ 158, 051
営業外収益	191, 994	193, 568	385, 562
営業外費用	38, 483	36, 370	74, 853
経 常 利 益	135, 822	16, 836	152, 658
特 別 利 益	48, 263	6, 085	54, 348
特 別 損 失	0	0	0
当年度純利益	184, 085	22, 921	207, 006
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	0	175, 526	175, 526
当年度未処分利益剰余金	184, 085	198, 447	382, 532
· ''' / F - F	ケートノー ユーノー トー		

※年度末において一括予算執行を行う長期前受金戻入及び減価償却費については、上期分・下期分としてそれぞれ推定される額を計上。

(4) 予定貸借対照表

(単位:千円)

資 産 の	部区	負債・資本	この 部
1. 固 定 資 産	14, 259, 884	3.固 定 負 債	2, 666, 528
(1)有形固定資産	8, 365, 094	(1)企 業 債	2, 616, 528
(2)無形固定資産	5, 894, 790	(2)引 当 金	50,000
2. 流 動 資 産	528, 204	4.流 動 負 債	393, 288
(1)現 金 預 金	507, 132	(1)企 業 債	374, 736
(2)未 収 金	0	(2)未 払 金	14, 041
(3) 貯 蔵 品	21, 072	(3)引 当 金	4, 511
		5. 繰 延 収 益	10, 234, 785
		(1)長期前受金	18, 276, 745
		(2)収益化累計額	8,041,960
		6. 資 本 金	1, 018, 148
		7. 剰 余 金	475, 339
		(1)資 本 剰 余 金	55, 653
		(2)利 益 剰 余 金	419, 686
資産合計	14, 788, 088	負債資本合計	14, 788, 088

(5) 企業債の状況

(単位:千円)

区分	前年度末残高	平成3	3月末現在残高	
<u> </u>	<u> </u>	3月末現在借入高	3月末現在償還高	3月 不先红双面
企業債	3, 325, 766	37, 100	371, 602	2, 991, 264